

進路「夢」実現



進路だより 第4号
令和6年3月1日発行
大笹生支援学校キャリア支援部

校長あいさつ



日頃より、本校の進路指導への御理解と御協力をいただき感謝を申し上げます。
今年度は、新型コロナウイルスが5類に移行したことで、教育活動もほとんどが支障なく実施することができました。感染予防及び感染拡大防止について御家庭並びに大笹生学園、事業所等の関係機関の皆さんの絶え間ない努力のおかげと改めて感謝しております。

どのような状況においても、児童生徒の学びを止めることがないよう教職員一丸となって取り組んでいるところです。

今年度も児童生徒の「夢」実現のために、進路に関する学習、働くためのスキル、そして産業現場等における実習に取り組んできました。地道に丁寧につとめががんばることができる生徒がさらに成長しています。生徒一人一人が自分の目標に向かって努力する上で、その可能性を引き出すことが学校の役割です。これまでの本人の努力と御家族並びに事業所の皆様の温かい御支援の成果を、社会において発揮できるよう願っています。また、新しい事へチャレンジすることも忘れずに歩んでいってほしいです。

今年度は、小学部8名、中学部22名、高等部30名の卒業生がそれぞれ次のステージへ向かいます。どのステージにおいても「夢」をもつことから始まり、進路実現のためにこの「夢」を育む学校でありたいと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。

校長 西牧 辰典

◆令和5年度各学部卒業生の進路先状況

●小学部卒業生 8名



進学（8）

本校中学部進学予定（8名）

●中学部卒業生 22名



進学（22）

本校高等部進学希望（21名）

県立高等学校希望（1名）





分類	進路先区分	人数	進路予定先
就職	一般就職	5名	・ヤマト運輸株式会社 ・福島医科大学総務課(2名) ・福島製鋼株式会社 ・東北日東工器株式会社
障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業所	就労移行支援事業所	1名	・ディーキャリア福島オフィス
	就労継続支援A型事業所	2名	・就労継続支援A型事業所 JWSげんきワーク ・東日本ケアサービス 大玉
	就労継続支援B型事業所	11名	・就労継続支援B型施設 ワークショップろんど ・就労継続支援B型 アットホーム(2名) ・指定就労継続支援B型事業所 ヴィレッジ ・障がい者就労支援 福祉ハウスボネール ・あづま授産所ぷらす ・就労継続支援B型事業所 FLAT福島(ふらっと ふくしま) ・多機能型事業所 大生信夫の里 (3名) ・就労継続支援事業所 マリアージュ
	生活介護事業所 (併用を含む)	7名	・多機能型事業所 大生信夫の里(2名) ・生活介護 ゆきうさぎの庭 ・円風舎 ・父の夢 ・社会福祉法人つばさ福祉会 カラーの夢 ・社会福祉法人つばさ福祉会 新おおぞらの夢
	共同生活援助	0名	
その他	在宅 未定	4名	



新規福祉サービス事業所情報



施設事業所名	場所	支援サービス・仕事内容
株式会社サンエスコネクト 福祉事業部伊達事業所 就労継続支援B型持病所 咲くら	伊達市馬場口	対象地域(福島市・桑折町・国見町・伊達市・川俣町) ・ダンボールのシール貼り・ケーブル関係
就労継続A型事業所 MARUFUJI	福島市南沢又	・調理の下準備 ・食器の洗浄・消毒など
生活介護事業所 ミモザ mimosa	伊達市保原町内町	【生活介護事業所】対象地域: 県北地方一円 生産活動(個人に合った作業)
就労移行支援事業所 グッドライフパートナー福島駅前	福島市置賜町	・多様な資格技能を身につけるプログラム ・就労プログラム、就労の支援

高等部卒業生から

3年1組 N

私は、「福島県立医科大学」への就職を目指しています。2年生後期、3年生前期・後期の3度にわたって実習でお世話になり、トイレやフロア、渡り廊下の清掃や落ち葉掃きの仕事を経験させていただきました。「自分から話をすること」が課題だと感じたので、3度目の実習ではその課題を意識し、コミュニケーションに力を入れて取り組みました。仕事中は大きな声で挨拶をすることが出来ましたが、朝、通勤した時の声が小さかったので、就職したら朝から元気な声で挨拶したいと考えています。実習では「社会人としてのマナーを考えて生活してほしい。」というアドバイスをいただきました。私は、社会人のマナーを「挨拶をすること」や「報告・連絡・相談をすること」だと考え、就職してからも大切にしていきたいと思っています。

私は、日頃の作業学習や現場実習の経験を、働くことに生かしていきたいと思います。後輩の皆さん、「諦めずに挑戦すること」を大切に頑張ってください。私も4月から頑張ります。

3年3組 Y

僕は、ヴィレッジという事業所で働きます。ヴィレッジでは、パネル拭きや草刈り、アパート清掃、マット作りなどの仕事があります。僕は、ヴィレッジで2回実習をしました。楽しかった仕事は、パネル拭きと草刈りの仕事です。それは、たくさん体を動かしてする仕事だからです。パネルを拭いたり、草を刈ったりする仕事は、きれいになりスッキリするからやりがいを感じます。実習をして大切だと思ったのは、体調を崩さないように自己管理することや話をよく聞いて行動することです。僕は、卒業します。大笹生支援学校で勉強するみなさん、楽しい学校生活を送ってくださいね。

合同作品展作業製品販売会

1月26日から29日まで行われた合同作品展において、作業製品を販売しました。今年度から中学部も加わり、テーブルには作業学習の時間に生徒が丁寧に作った色とりどりの製品が並び賑わいました。26日に中学部2年1、2組、29日に中学部3年2、3組の生徒が校外学習で販売会を見学しました。製品が売られている様子を見て笑顔になり、自分の製品と比べながら他校の製品をじっくりと見る姿が見られました。29日には高等部1年1～3組、3年1、2組の生徒が販売体験をしました。元気な声で呼び込みをし、「少々お待ちください。」と丁寧な言葉遣いでお客さんとやりとりしながら、お釣りを間違えないように確認する姿等が見られ、買ってもらう喜びも体験しました。





今年度の進路指導を振り返って



小学部教諭

「おはようございます。」「いってきます。」「ただいま。」「ありがとう。」「これらは、毎日過ごしている小学部の教室からたくさん響いてくる言葉です。小学部では、毎日行われている学校での学習や生活の全てが、子どもたちの進路につながっていると考えています。そのため、子どもたちが、一人一人のよさを生かして将来へ向けて進んでいけるように、身の回りの身の辺り自立から、あいさつ、係活動等の体験や積み重ねを丁寧に行っています。

そして、高学年では毎年「まな板山郵便局」を実施し、仕事をする事の良さも体験しています。周りの人のために仕事をする事を通して、子どもたちからは「嬉しかった。」や「もっとがんばりたい。」などの素敵な言葉が挙がっていました。前を向いて、一生懸命学ぼうとする姿を見て、私たちも将来、社会で生活する姿を想像し、とても頼もしく感じているところです。

子ども達は、毎日少しずつ成長や変容を遂げています。家庭や学校で身に付けていることを一つ一つ確実に積み重ね、将来の大きな力につなげていけるよう、目標をもって取り組んでまいりたいと思っています。そして、中学部、高等部、社会人と成長していく子どもたちに、小学部での経験や思い出を生かし、自信をもって、夢に向かって進んで欲しいと思います。

中学部教諭

進路学習として、高等部の作業学習の様子を見学しました。作業内容にはホームセンターで売られる製品にシールを貼るものもあり、参観した生徒は高等部の先輩たちが懸命に作業に向かう姿に驚き、レベルの高さ、丁寧さ、質の高さに感嘆し、大きな刺激となったと考えます。また、挨拶や会話、報告など正しい言葉遣いがされている様子に驚く様子も見られました。レザークラフトや清掃を行うクリーン活動等、中学部にはない作業内容に魅力を感じ、自分の進路について考える上での良い刺激となったとも考えます。

中学部では11月の授業参観の際に製品の対面販売を行いました。金銭と引き換えに製品を渡す売買の経験をしたり、直に製品の評価を受けたりと、コロナ禍でできなかったことを経験し、学習へのモチベーションを高めることができました。

現在は入学試験に向けて、筆記試験や面接についての学習に取り組んでいます。振る舞いや態度、姿勢、挨拶等、中学部の学習で培った知識や技能を本番でも生かし、入試を頑張ってもらいたいと考えています。そして、卒業後の生活で、希望をもって充実した毎日を送ってもらいたいと思います。

高等部教諭

作業学習や年2回実施している産業現場等における実習などを通して、働くことの意味や、集中力などを身につけられるように指導してきました。また、あいさつや返事、報告なども大事ということは日ごろから指導してきたところです。あいさつは人とコミュニケーションを円滑にしてくれるのは言うまでもありません。学生時代だけでなく、卒業して社会人になってもあいさつは大事だと進路学習などで進めてきました。また、高等部生徒会では毎月11日をあいさつの日と設定し、あいさつ運動を進めて数年になり、校舎内に日々「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」のあいさつの声が響いています。卒業して社会人になってもあいさつができることで、新しい場面においても生かされることを信じています。

また、スマホやSNSの利用方法、金銭管理や、自立した生活を想定することも、高等部生徒には時機を考慮して指導してきました。タブレット端末を活用して調べ学習などを進める中で、多様な情報の中から自分で活用する内容を知ることでもできました。卒業後に手にする金銭をどのように管理するか、洗濯機などの家電製品をどのように使用するかなど、自立した生活については、学校生活の中だけでは難しい部分はあったと思います。しかし、家庭生活の中でどのように扱ってきたか、家事の手伝いをどの程度やってきたかによって生活に生かせることが多いので、社会人になっても基本的な家事について継続したり挑戦したりしてほしいと思います。その意味でも家庭においての手伝いについて、将来に生かせることと考慮していただけると有難いです。

今年度も、保護者の皆様にはいろいろと進路指導に御理解と御協力をいただきましてありがとうございました。これからもよろしくお願い申し上げます。

